

「おひとりさま」の選択肢

三井ホームグループの三井ホームリモデリングは、「三井のリフォーム住生活研究所」によるライフスタイルレポートの第6弾として『「おひとりさま」の住まいの選択肢』を発行した。人口が

三井のリフォーム住生活研が発刊



「一人でも安心快適に」と西田所長

減少する一方で、増加する単身者世帯にスポットを当て、リフォーム事例を基に、ひとりで「快適」に「安心」して暮らす住まいの実相を探ったもの。同研究所の西田恭子所長は「現代社会で多数となるはずの『ひとり暮らし』を直視するきっかけになれば」としている。レポートは、全4章と川津のり・野村総研主任コンサルタントによる特別寄稿で構成。ひとり暮らしのリフォームにおける「世代」や「広さ」、「建物形態」に注目。一人で快適に暮らすためのポイントを、自社の事例

リフォーム事例基に実相探る

を通して検証した。第1章は、単身者増加の社会的背景や新しい単身者住居の動きを紹介。第2章では、ひとり住まいに必要な基本要素を探った。第3章は、実際のリフォームを行った、30歳代から80歳代までの男女5人にヒアリングし、その後の暮らしぶりをまとめている。第4章は「コンパクトなスペースをいかに住みやすくするか」と「ひとりでは十分すぎるスペースをどう使いこなすか」という2つの課題に対し、広さや場所によるリフォーム手法を提示。さらに、川津氏は生活実態を分析し、今後の動向や展望を寄稿した。